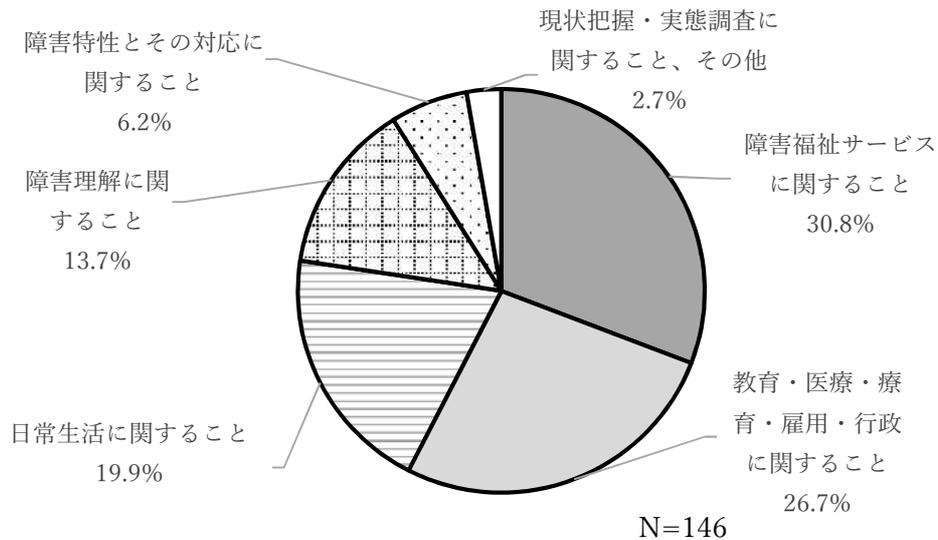


# 自由記載について(発達障害のある人の家族)

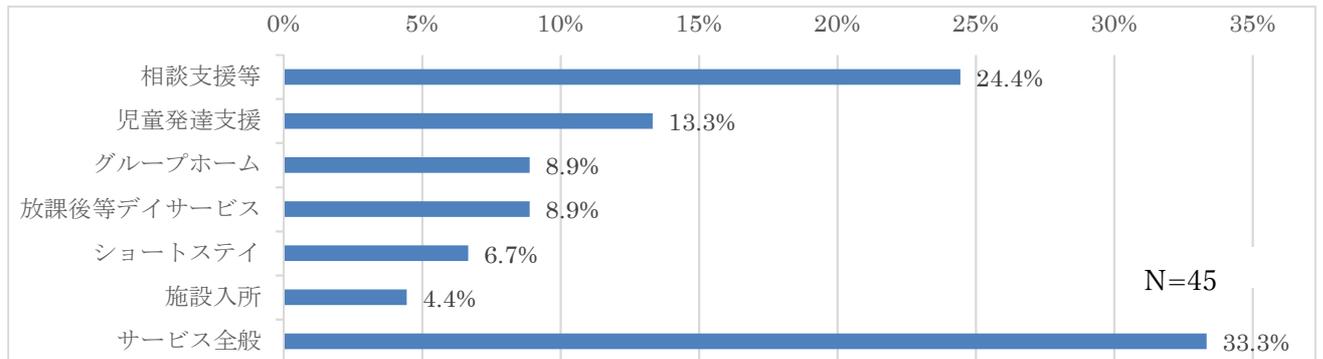
86名から 146 件の回答

## 【概要】

### 1. 自由記載意見の内容



### 2. 「障害福祉サービスに関すること」の内訳



### 3. 主な意見

- ・将来の事を考えると、我が子のように最重度の知的障害の方が入居できるグループホームが無いことが不安。
- ・現在 16 歳なので、移動支援やショートステイなど利用したいのですが、制度はあっても実際行っている事業所が少なく、また支援員さんの人数も足りていないとの事で利用が困難です。
- ・発達障害があると分かってもどこへ行くのかなど本当に分かりづらく、電話も回されるし、もう少し力を入れてほしいと思います。
- ・学校までは、発達障害の知識のある支援者や相談する人がいましたが、社会に出てからの支援や相談できる相手が、なかなかいない気がします。

## 【記載内容一覧】

### 1. 障害福祉サービスに関すること (45件)

項目	キーワード 短文	記述内容
施設入所	入所できない不安 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所施設はどこも満員で希望がもてないこと等に不安を感じています。</li> <li>・現在通っている福祉事業所は、手厚く本人も安定していますが夜間対応や入所がなく将来がとても不安です。</li> </ul>
グループホーム	最重度の知的障害がある方へのグループホームが無い (1件)	・将来の事を考えると、我が子のように最重度の知的障害の方が入居できるグループホームが無いことが不安。
	グループホームの増設 (1件)	・グループホームが増えてほしいです。
	人材不足 (1件)	・今通っている事業所に将来入所のケアホームなどを作って欲しいが一番は、人材不足だそうです。
	職員の保証の充実 (1件)	・若い人が興味を持って来て働く人の保証をしっかりと出来る制度があると少しは、親なき後が安心出来るのですが今のままでは、親は、死ぬに死ねません。
ショートステイ	利用が困難 (1件)	・現在 16 歳なので、移動支援やショートステイなど利用したいのですが、制度はあっても実際行っている事業所が少なく、また支援員さんの人数も足りていないとの事で利用が困難です。
	少なすぎる (1件)	・未就学児や小学校の子供が利用出来るショートステイ先が、北九州市は少なすぎると思います。
	利用できないことへの心配な日々 (1件)	・ショートステイの施設を紹介してもらいましたが、未就学の下の子は利用出来るかもしれないが、小学生の上の子は満床なので利用出来ないと説明を受けました。私に何かあったら子供達を見てくれる人がいないので、毎日心配な日々を送っています。

相談支援等	ワンストップ窓口の設置	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったことがあったら何でも相談できるワンストップの窓口があると良いと思います。</li> </ul>
	相談場所の充実	(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応の仕方など相談できる場所をもっと増やしてもらえたら嬉しいです。</li> <li>・近いところに何か相談できる施設があるとよいです。</li> </ul>
	杓子定規な回答	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つばさへ相談しても杓子定規な回答しかないので、もっと親身になってくれる機関を知りたい。</li> </ul>
	対応が遅い	(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つばさや子ども総合センターを、もう少し利用しやすくしてほしい。以前本当に困った案件があった時、あまりの対応の遅さに困り途方に暮れた。困り果てているのにも関わらず、問題解決にならず数ヶ月かかるのは、意味がない。</li> <li>・以前、障害者基幹相談センターに支援をお願いした際、具体的な指導が始まるまで、かなり時間がかかった。もう少し迅速にしてほしいと思った。</li> </ul>
	相談先が分かりづらくたらい回し	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害があると分かってもどこへ行くのかなど本当に分かりづらく電話も回されるし、もう少し力を入れてほしいと思います。</li> </ul>
	アドバイスや協力で助かっている	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った時に色々な方々に相談するとアドバイスもいただけるし協力もして下さるので非常に助かっています。</li> </ul>
	常時相談できる環境の整備	(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安があれば、すぐに相談できるような環境を望みます。</li> <li>・相談機関は平日のみなので、仕事をしていると利用が難しく、定期的に相談することができませんでした。利用日時について、土日なども利用できるようになると助かります。</li> </ul>
	成人対象の相談機関	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人を対象にした相談機関がない。</li> </ul>

放 課 後 等 デイサービス	とても良かった 感謝	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在放課後デイサービス(鳴水館)を利用していますが、最初は行かせる事をすごく悩みましたが今はとても良かったと感じています。先生たちも優しく接してくれるし、子供の可能性を伸ばしてくれているように思います。何でもダメダメではなく、何故そうなのか？を聞いてくれたり発想が他の人と少し違ったりしますがソレも個性として見てくれていて私はとても感謝しています。</li> </ul>
	コロナ禍での対応	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、リモート授業などの対応が放課後デイから出来ないと回答をもらい困った事がある。</li> </ul>
	卒業後の不安	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は学校の後、放課後等デイサービスを利用していますが、学校卒業後は利用できないので不安です。</li> </ul>
	契約を断られた	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後デイサービスの方では、見学は受け入れているのに、いざ契約となると定員がいっぱいでと断られることもあり、相談員さんはいないので現在セルフプランで頑張っている状態です。</li> </ul>
児童発達支援	施設の増設	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅からひまわり学園まで毎日車で片道 30 分運転しています。かなり疲れます。近場にひまわり学園みたいな幼稚園を作ってほしい。</li> </ul>
	送迎範囲の拡大や支援	(2 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり学園のバスを自宅近くまで走らせてほしい。</li> <li>・送り迎えをしてくれる行政機関がなにかあれば助かります。</li> </ul>

児童発達支援 (つづき)	保育時間の改善	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園(ひまわり学園)は 10 時から 14 時までの為、仕事をするには、子供を自ら幼稚園に送り迎えに行くのですが、幼稚園内では預かって貰えず片道 1 時間半以上バスに乗っていないといけないのです。朝はバスの中で 10 時になるまでの時間を過ごすということです。帰りは 14 時から 15 時半までバスの中で過ごします。毎日 3 時間以上バスに乗っている事になり 3 歳から 6 歳の子供にはかなり酷だと思います。園で見て頂けるように改善していただきたいです。</li> </ul>
	できることが増えていることに感動	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無理させず、本人のできる範囲を探っ下さりながら、タイミングよく教え、できることが着実に増えている事に感動します。</li> </ul>
	支援に感謝	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温かな、たくさんの支援の手に本当に感謝しています。ありがとうございます。</li> </ul>
サービス全般	事業所利用後の受入れ施設の設置	(2 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所の後に利用できる施設ができる事を願っています。</li> <li>・ 通所後の放課後等デイサービスの様な事業があるととても助かります。</li> </ul>
	支援に感謝	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な支援を受けられていることに感謝しています。</li> </ul>
	支援が充実	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪に比べると発達障害者の支援が充実しているなど実感しています。</li> </ul>
	人材育成	(3 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達障害について勉強した専門の人をもっと増やして欲しいです。</li> <li>・ 人材育成に力を注いでほしいと思います。</li> <li>・ 発達障害も特性や問題もいろいろなので、十分な基礎知識と応用力のある人材育成が必要だと思います。</li> </ul>
専門的機関や施設が少ない	(2 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケースに応じて専門的に対応してくれる機関が少なすぎます。</li> <li>・ 専門的な支援をさせてあげたいが、利用できる空きや施設の数圧倒的に少ない。</li> </ul>	

サービス全般 (つづき)	専門性の疑問	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校も相談機関も本当に専門性があるのか疑問に思うことも少なくありません。</li> </ul>
	発達障害の可能性のある子への支援	(3 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育手帳の申請には通らない、所謂グレーゾーンです。ですが通常の生活を送る為には色々と配慮が必要です。配慮しないととてもじゃないけどついていけません。手帳が取れないから、全て親がフォローするしかありません。第三者の方に頼れたらなあと思います。グレーゾーンの子どもへももっと助けて欲しいです。</li> <li>・グレーゾーンの人の相談機関もない。</li> <li>・中途半端なグレーゾーンの子供は何の支援も受けられず相手にされない。馬鹿らしくなった。</li> </ul>
	軽度の発達障害のある子への継続した支援	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害の程度としては軽めの分類に入る子どもについて、就学前まではたくさん学びの場(ひまわり学園の短時間通所や療育センターや教育相談等)があったが、小学校に入学すると一旦様子を見るという理由で支援は中止になります。後は支援学級の先生にのみおまかせする感じになっているので、就学後も継続して支援を受けれるといいなと思います。</li> </ul>
	成人後の支援	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校までは、発達障害の知識のある支援者や相談する人がいましたが、社会に出てからの支援や相談できる相手が、なかなかいない気がします。</li> </ul>

## 2. 教育・医療・療育・雇用・行政に関すること

(39件)

項目	キーワード 短文		記述内容
教 育	専門性の向上や理解の促進	(5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教員も専門性を高めることが、必要と思います。</li> <li>・支援学級の担任も発達障害を理解していないと感じる事もあります。学校の先生にきちんと発達障害について学んで理解して欲しいです。</li> <li>・先生方にも専門知識を身につけ障害のある子への理解、配慮がより一層深まるようにしていただきたいです。</li> <li>・小学校や中学校などで、特別学級以外の先生たちにも定期的に発達障害の講義をするなどしてもっと知ってほしいです。</li> <li>・教職員によって(障害理解の)差が大きすぎるのも、違和感があります。</li> </ul>
	理解不足による誹謗中傷	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在小学校の支援学級に通っていますが、教職員の理解がなく、誹謗中傷にあいました。学校でこんな目に会うとは思いませんでした。</li> </ul>
	現状を理解してもらえない	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最重度の知的障害があるため目が離せず、預けることも困難なのが現実で、兄弟のPTA活動参加が困難です。学校の校長、教頭や、状況を他の保護者に伝えても理解自体が難しいようで、説明した上で参加しても、欠席せざるを得ず欠席した際にペナルティを課せられたり、毎年苦痛でなりません。</li> </ul>
	課題の明確化と伝達	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援学校に行っているのですが、課題をはっきりさせ、伝えてほしい。</li> </ul>
	子どもの特性や関わり方を見直す機会	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校でも適切な対応がなされず、いじめや不登校や二次障害(精神疾患など)に結びつくことも多いようなので、先生方の今までの経験を自負したり、「知ってるつもり」の教育観から、子どもの特性や関わり方を見直す機会もあってほしいです。</li> </ul>

教 育 (つづき)	個別への配慮・教育の促進	(1件)	・北九州市は他県他市よりも特別支援学校(養護学校)の歴史がありますが、発達障害に関する教育は進んでいないように感じます。教育指導要綱にあるようにもっと個別への配慮や教育が進むことを願います。
	環境が整っている	(1件)	・小学校の支援級も情緒と知的クラスに分けられていて、子供がきちんと教育を受ける環境が整っているなどと思います。
	手立てを継続するための社会への働きかけ	(1件)	・昔からこうだったから、なんてことがないように、社会に出たら手立てがなくなるから教育の場で手立てをなくす練習をするのではなく、社会に出ても手立てが使えるように教育の現場からもっと社会に対して働きかけができるようになってほしいです。
	手立ての薄さ	(1件)	・福祉施設より教育の現場での手立ての薄さに驚くことがあります。
	高等部への通学バスの導入	(1件)	・知的障害、精神障害の高等部にも通学バスが必要です。将来の為に親が働きやすくなる環境がと願います。
	発達障害の可能性のある子への理解	(1件)	・軽度、グレーな発達障がい児の微妙な境にいる子の教育現場での支援の理解を深めて欲しいです。一見、定型児に見えてしまうので、なかなか理解されない所が多い。
	幼稚園での対応	(1件)	・幼稚園が少しでも発達障害児の対応があればいいと思う。
	特別支援学級の新設	(1件)	・特別支援学級新設希望は数年連続で叶えられず、あきらめ今年は通級申し込みをしています。 ・段階的に進められているのは知っていますが、早く身近な所で必要時に相談や支援を受けられるように整えていてもらいたいです。切実です。

教 育 (つづき)	進路に関する情報がなく不安	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校については、中学校の支援学級、その後の進路に関する情報がなく、不安ばかりが募ります。小学校の早い段階から、高校やその先など、将来のことを示していただきたく思います。</li> </ul>
	就学相談時の丁寧な聞き取りや専門職員の同席	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害児(者)向けのものというのは実は全人に有効です。たとえばがPTAのお手紙や活動などでもイラストなど視覚を使い、言葉を的確に短くする方が伝わる人が多いのです。“発達支援”と括らずそれが一般的になればわざわざどのような支援を…と学ばなくとも皆ができるようになります。</li> </ul>
	幼稚園や保育園の入園(転園)が困難	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>なかなか発達障害のある子どもだと、幼稚園や保育園に入りにくい。その子にあった支援を得ようとする、幼稚園では断られ(サポート園といわれている幼稚園も名ばかりで補助金目当てなのかと思います)、保育園は点数が高かったにもかかわらず年度途中では入園が難しかった。そんな中、受け皿的機能を果たしていた市立幼稚園も閉園予定ときいた。閉園にあたっての説明資料もみたが、専門家の意見は述べられていたが、実際の声は汲み取られているとは言い難く、支援を要する子どもの私立幼稚園や保育園への転園は現実的に難しい。</li> </ul>
	スムーズに進級	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の支援級に行っていますが、幼稚園から小学校への移行も就学相談でスムーズに進むことができましたし、学校もよくしていただいて、今は問題なく生活ができています。</li> </ul>
	就学への不安	(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校就学への不安があります。</li> <li>修学前なのでこれからどのようなようになるのか不安が多いです。修学後についても早めに(いろいろな情報を)教えていただきたいと思います。</li> </ul>

医 療	断られた	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政の情報で調べて、実際病院に電話をしたが、何か所も断られた。(てんかんをもって、神経内科を受診している。学校でトラブルが多いことから、神経内科の先生より心療内科を受診するように言われ、病院を探していた。断られた理由はてんかんがあるので難しいとのこと)</li> </ul>
	理解不足によるもどかしさや心無い言動	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関であっても、専門分野でない診療科にかかると、医者や看護師の発達障がいへの理解がなくて、もどかしい思いをしたり、血液検査やレントゲン、エコーなどの検査時に検査技師から心無いことを言われたりする。そういう人への理解がきちんとなされている総合病院があればいいと思う。</li> </ul>
療 育	頻繁に通えず効果が期待できない	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な支援スタッフに協力してもらいたいが、すぐ利用できる訳ではなく予約半年待ちなど、こちらでは普通で毎日支援実行していかないと改善に繋がらない。月に一回療育センターに通わせても効果に繋がらないと思う。</li> </ul>
	検査体制の充実	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本は医療は安く質もいいですが、療育など子どもが小さい時に簡単に検査してもらえる、頻繁に通える所がまだ認知されてなく、早期治療に繋がってあげられてないのではとよく感じます。療育は日々重ねていかないとあまり意味がないのもっと頻繁に広げて簡単にアクセスさせてあげてほしいところです。</li> </ul>
	受診待ちの期間が長い	(2 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>予約し 3 ヶ月待ちが 9 ヶ月後まで伸び、やっと療育センターでカウンセリング後、自閉症 ADHD 多動と診断されたが療育手帳にはかからない為、発行には至らず。グレーゾーンと言われた。</li> <li>療育センターの発達検査等の予約が数ヶ月待ちというのが何年も続いており不安を抱えたまま、長い時間を過ごす保護者が多い現状を改善して欲しいです。</li> </ul>

雇 用	寄り添い学べる環境があれば安心	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 18 歳で支援学校を卒業後からが長いので、学校でいろんな作業を体験し学んだことが継続して本人のステップアップがなくなることが残念です。いろんな福祉事業所はありますが、支援学校のように寄り添って学びながら、仕事ができる環境の事業所があれば安心します。</li> </ul>
	指導者の言動等で傷ついた	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前、指導者の言動等で傷ついていた時期がありました。</li> </ul>
	家族面談等があれば安心	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場の状況は本人からの報告頼りなので年 1 でも家族を含めて面談等あれば安心ですよ!</li> </ul>
	雇用の場の拡大	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者雇用の場を広げて欲しいです。</li> </ul>
行 政	理解不足	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区役所の福祉課などでなかなか理解してもらえずにいたこともありました。</li> </ul>
	専門的職員による支援の充実	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自閉症の子どもたちを理解し、支援していくことが増えるとうれしいです。専門的な知識を持った方が学校や作業所、福祉の現場などで私たちの苦しい状況を知ってもらえるように話し、その子にあった支援ができていくことを望みます。市の方もそのような体制づくりをしてくださるとありがたいです。</li> </ul>
	啓発の促進	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達障害に関して、もっと積極的に出前講演などの啓発をして欲しいです。</li> </ul>
	利用者負担の上限の見直し	(2 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 療育の利用額が非課税、4600 円、37200 円はあまりにも酷です。高収入と思われますが人が休んでる時も毎日働いています。受給者証の金額を見直していただきたいです。</li> <li>・ 受給者証の負担額の所得制限や特別児童扶養手当の所得制限をなくして欲しいです。所得があっても単身赴任で出費がかさみ家族のサポートも得れず、デイサービスを利用しようにも出費が重なるので受けられずかなり辛いです。</li> </ul>

<p>行政 (つづき)</p>	<p>福祉サービスの無償化</p>	<p>(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが子が年長のときに保育料無償になった。それまで保育料と毎日の児童発達支援通所の二重の支払いでかなり家計費を圧迫していたので、無償はとても助かった。小学生になり有料になったが、やはり学童と二重で払っているの、福祉のほうは無償にしてもらえたらありがたい。</li> </ul>
---------------------	-------------------	-------------	---

### 3. 障害理解に関すること (20件)

項目	キーワード 短文		記述内容
<p>障害理解</p>	<p>理解促進</p>	<p>(7件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと、一般の方に受け入れて貰いたいです。通常学校にも正しい理解を学んでほしいと思います。</li> <li>・地域や周囲の人々への発達障害理解への取り組みをこれからもよろしくお願ひいたします。</li> <li>・もっと発達障害について知らない人にも個性ある特性を知ってもらい、実際の前にその人がいた時に、より分かりやすい接し方や言葉や所作の伝え方等の周知が必要かと思ひます。</li> <li>・誤解される事が多い発達障害者が必要だと思ひすることは、手をさしのべる事だと思ひています。</li> <li>・発達障害の理解が進み、働きやすい社会にしてほしい。</li> <li>・社会全体に理解が進めば、こんな思ひ(子供の障害のことを話せない)をしなくてもいいのと思ひます。</li> <li>・たくさんの方に認知、理解していただけるようにもっと情報等発信してほしいです。</li> </ul>

障 害 理 解 (つづき)	理解不足	(6 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的の遅れを伴わない発達障害の理解が、まだまだと感じています。</li> <li>・発達障がいに関して周囲の認知度が低すぎる。</li> <li>・発達障害に対する一般の理解のなさを感じる。私自身も、発達障害について、自分の子どもがなかなければ、何となくでしか知らなかった。</li> <li>・「発達障がい」という言葉は広く周知されてきたと思うが、外見的には定型発達の子供とほとんど変わらないため、具体的な特性による困り事はなかなか周囲に解ってもらいにくい。</li> <li>・まだまだ障害に対して偏見などを持つ方が多く障害者(児)、またその家族は暮らしにくい部分があります。</li> <li>・外出先などで嫌な目で見られるのが辛いです。</li> </ul>
	自ら勉強	(2 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の子供が発達障害と分かり初めて発達障害について調べたり育て方を考えるようになりました。</li> <li>・子供を見る限り多少は発達障害もあるのかな？と、ハッキリとはわからない状態でしたので、これから、ちょっと詳しく勉強しようと思います。</li> </ul>
	ヘルプマーク以外のマークの作成・普及	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルプマーク以外に発達障害(個別の障害名が記載された洋服につけれるバッチなど)が欲しいです。ヘルプマークだと具体的なヘルプして欲しい内容が分からず迷子の時などには不向きです。我が家では出かける際、5歳の子供に「愛のワッペン」というものをリュックや衣服につけています。ぜひ調べてみて頂きたいのですが、そういったものが普及されると助かる保護者の方は多いと思います。</li> </ul>
	支援学級の正しい理解で安心	(1 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄も、弟が情緒クラスに入学すると聞いた時は、かなりショックを受けていた。言うことを聞けない悪い子が情緒クラスと思っていたようで、誤解がとけ、自分の友人も弟を受け入れてくれている様子を見てからは安心した様子だった。</li> </ul>

障 害 理 解 (つづき)	共生社会の実現	(3 件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、全ての人が安心して健やかに共存できる未来を創っていただきたいです。</li> <li>・身近な家族、友人は理解してくれますが、これから子供が生活しやすい世の中になってもらいたいです。</li> <li>・皆が生きていきやすい世の中になって欲しいですね。</li> </ul>
------------------	---------	-------	--

#### 4. 障害特性とその対応に関すること (9 件)

項 目	キーワード 短 文		記 述 内 容
障 害 特 性	少しのストレスや不安が原因になる	(1 件)	・少しのストレスや不安により、適切な行動ができなくなったり、行動障害などを招いてしまいがちです。
手 立 て	応用行動分析学の普及	(1 件)	・応用行動分析学を扱っている福祉(事業所)や病院があればもっと伸びる子供は多いと思うのでなんらかの形にしてほしい。
	ソーシャルスキルトレーニングの場の増設	(1 件)	・就学後の療育の場がない。普通級や情緒級に通う発達障害の子どもにソーシャルスキルトレーニングが出来る場所を増やして欲しい。
	P E C S の活用が出来ていない	(1 件)	・九州は他県と比べ学校で P E C S 活用が出来ていないし、デイサービスでも活用出来るところが少ない。北九州市には今本先生がいるのに普及出来ていないと思う。
	専門職の人でもできない	(1 件)	・専門的手法を誰もできない。専門職の人ですらできていないのが現状。
	取り入れていない	(1 件)	・アンケートにあった、発達障害者支援の専門的な手法を自宅ではほとんど取り入れていません(ふつうの子育てレベル)。人は一生成長・発達するものであり、まだ小学生で急速に成長する時期に「できないこと」「苦手なことを」に対して環境を整えることよりも、本人の発達を促す方がずっと大事であると考えています。

手立て (つづき)	支援のあり方	(1件)	・「支援」の意味合いはケースにより異なると思いますが、本人の苦手なことをすべて「特性」として「専門的」に支援しようとする姿勢には違和感を覚えます。支援者には、苦手な理由、できない理由を「特性だから」ではなく根本的に探り、解決できるようなアドバイスを望みます。
ツール	サポートブックの普及	(1件)	・サポートブックの普及もまだまだである。
	発達障害児(者)だけでなく全ての人に有効	(1件)	・発達障害児(者)向けのものというのは実は全人に有効です。たとえばがPTAのお手紙や活動などでもイラストなど視覚を使い、言葉を的確に短くする方が伝わる人が多いのです。“発達支援”と括らずそれが一般的になればわざわざどのような支援を…と学ばなくとも皆ができるようになります。

## 5. 日常生活に関すること (29件)

項目	キーワード 短文		記述内容
家族支援	最良の対応がわからない	(1件)	・知的障害と自閉症の子供に対してどういった対応が1番良いかがわからない、模索中です。
	手をあげていた	(1件)	・旦那には発達障害の特性などがわからないのかよく手をあげていました。それを止めるすべがなく辛い思いをする事が多かったです。
	かかわり方を学ぶ	(1件)	・今後、私たちももう少し余裕ができれば(主人も発達障害で、私も持病があるので)色々教えていただき、適切な関わり方を学んで笑顔で過ごせる時間を増やせたらと思っています。
	「あなたのままでいいよ」と伝える	(1件)	・親から見て、小学生の本人なりに頑張っているのがわかるので、無理をせず、悩まず、「あなたのままでいいよ。」ということ伝えてたい。

<p>家族支援 (つづき)</p>	<p>発達障害のある人を支える家族の苦しみ</p>	<p>(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私はカサンドラ症候群と言われる状態になっている主婦です。10年以上うつ状態や不安感を抱えて苦しんでいます。アスペルガーの夫はそれを知っていても面倒がり、一度も病院に付き添いもしてくれません。私の実家や夫の親族なども、発達障害のある夫の相手は難儀するので関わりたくないのので私は孤立無援です。発達障害本人より、家族が苦しんでいることを知ってください。第三者の介入を得る手段がないんです。アスペルガーを持つ家族の方が苦しんでいるんです。</li> </ul>
	<p>親亡き後の不安</p>	<p>(2件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親亡き後の事も不安です。</li> <li>親亡き後が心配です</li> </ul>
	<p>コロナ禍での不安</p>	<p>(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で色々なことに制約があり、うまくいっているような、いないような不安が常にあります。</li> </ul>
	<p>進学・就職への不安</p>	<p>(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学、高校進学、就職に関して、不安が多い。</li> </ul>
<p>働く親・仕事と支援の両立</p>	<p>働き方が制限される</p>	<p>(4件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援センターに通園しているが、開園している時間内で働くことはできず就労を諦めた。将来の子どものためにも働いて蓄えたい、自分のスキルを活かし社会に貢献したいが、現実的に厳しい。障害をもつ子どもやその親の環境整備を整えてほしい。</li> <li>支援が必要な子なので、預かってもらえる時間が短く、フルタイムで働けない。私はフルタイムからパートに切り替え、出勤時間を遅らせてもらった。</li> <li>引野ひまわり学園は、サービス提供時間がとても短く、就労している人が選択できない要因の一つとなっています。学園終了後、他の事業所を使うこともできないため、就労している人は学園に通わせるために仕事を辞めたり、祖父母に送迎や帰宅後の面倒をお願いするなど、とても家族の負担になっています。障害児のいる家族は、働き方も制限されてしまっているのが現状で、それがとても辛かったです。</li> <li>事業所は帰る時間が早いので、今の仕事を辞めないといけなくなるかもしれません。</li> </ul>

働く親・仕事と 支援の両立 (つづき)	受診等の時間の確保 が困難	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが2人いて2人とも発達障害を持っているのに自分がシングルなので仕事が優先され、思うように療育センターや児童発達支援所に連れて行ってあげることが出来ません。</li> </ul>
	周囲の理解なく仕事 の継続が困難	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会や会社の理解がなく、仕事も続けられませんでした。子供が障害児であることを伝えても、誰からの理解も得られず、正直に言っても、自分たちの育児論を話され、疲れてしまい、今は子供の障害を言わないで(隠して)、パートで働いています。自慢の子供ですが、言ったところで、逆に子供に被害や不利益しかないなので、黙る(隠す)のが最善だと思い、話せないのが現状です。</li> </ul>
情報提供	情報の不足	(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報が少なすぎる。どこでどうすればいいのかわからない。</li> <li>専門医療の紹介を何処でしていいのかわからない。</li> </ul>
	支援体制の周知	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害支援について、より多くの方に周知してもらえる環境を整えて欲しい。早い段階で周知する事で社会の中で、孤立する事が減ったり、自立した大人になっていく手立てが、早期に対応できると思います。</li> </ul>
	福祉サービスに関する 情報発信	(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉サービスについての情報発信に努めてほしい。診断を受けるまではスムーズに行けたが、その後のどのように療育すれば良いのか、情報を集めるのに苦労しました。</li> <li>放課後デイなどの情報を自分で集めるしかなく探すのに苦労したので、相談機関などで情報提供できるようにしていただけると助かります。</li> </ul>

情報提供 (つづき)	支援に関する情報発信ツール等の作成	(4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害が分かってから先の、保護者がどのような機関にどのようにして繋がれば良いのかの詳しいツールがあればいいと思います。なぜなら親も最初は何もわからないので、自分から本を読んだりして勉強し、どこの誰に何を相談するのか、どうやって申し込むのかを調べたり、どんなサービス、どんな支援の方法があるのかを探して大変だからです。</li> <li>・病院や相談員さん、支援事業所、就学相談、特別支援学校、学級についてはほぼ親が調べ数あるなか探しお願いしなければならないので、調べる手間が省けるよう、分かりやすい案内のような北九州の専用のウェブ、アプリなどがあれば便利だろうなと思います。その中に親や本人の相談サイトをつくるともっと手軽に相談や知りたいことが知れたりするのは尚良いかと思います。</li> <li>・乳幼児期は周りの繋がりが無く、障害児を抱えながらの情報収集は困難です。生まれてたらどういふサポートや療育、幼稚園、小学校、高校があるのかというのをまとめた冊子のようなものが欲しかったです。道筋が見えると将来の心配が少しでも軽減され心が落ち着くと思います。</li> <li>・子供に合う放課後デイサービスや相談員の方を見つけるのにとっても苦労しました。難しいとは思いますが、HPでの情報だけでなく、市発信の情報ツールがあれば、とても助かります。</li> </ul>
	セミナーに関する情報発信	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害者支援のセミナーに関する情報をもっと知りたいので、療育センターや事業所を通じて情報を受取りたいです。</li> </ul>
	情報収集の方法	(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私(知的障害、自閉症児の母)は <b>facebook</b>、メールマガジンでおめめどう株式会社の社長さんが発信されるものを読んでいます。</li> </ul>

情報提供 (つづき)	入園時における福祉サービス等の紹介	(1件)	・幼稚園の入園時に我が子に不安がある保護者にむけて療育センターやその他の発達障がい者支援のサービスなどの紹介などをしてもらえると早期に療育を開始出来るのでいいと思います。
交流機会	意見交換の場	(1件)	・発達障害児やその家族が意見交換できる場があればいいなと思います。
	居場所づくり	(1件)	・発達障害の子どもが難しくなく集まれるようなひらけた場所がほしいです。障害のある子供だけが遊べるような場所をつくってほしいです。

## 6. 現状把握・実態調査に関すること、その他 (4件)

項目	キーワード 短文		記述内容
現状把握 実態調査	知的障害のある人への支援にも活用	(1件)	・今回のアンケートが発達障害の人達だけでなく知的障害の人達にとっても当たり前前に生活できるような支援に役立ててほしいです。
	感謝	(1件)	・このようなアンケートをつくって動き出してくださったことに感謝します。
	どの手法に該当するか曖昧	(1件)	・園でいろんな取り組みや工夫をしてくださっていますが、私が専門的な知識に乏しいため、どの手法に該当するか回答が曖昧になってしまっていると思います。
その他	小学生への精神保健福祉手帳の交付	(1件)	・北九州市は小学生に精神の手帳は交付しないんですか？役所から取るのは難しいと言われた。